

第2学年 国語科学習指導案

令和2年10月2日（金） 第5校時

1 単元名・教材名 そうぞうしたことを、音読劇であらわそう・「お手紙」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

本学級は、音読や漢字練習、季節の言葉集めなど意欲的に取り組む児童が多い。どの児童も話を聞き、学習に意欲的に取り組んでいる。しかし、入学した当初は、個人差が大きく、国語の授業を進めるにあたって、「読む・書く・聞く・話す」ことに対して、難しさを感じる児童もいた。行間を読んだり、言葉に注意したりして、様子や気持ちを想像することが苦手な子も多い。本を読むことに興味をもち、本の面白さに触れてもらうために、図書室に通うようにした。すぐに、本を手にとれるように、学級文庫の本を図書支援員の方に選んでもらい、児童の好む様々な本を揃えてもらった。1学期の物語文である「スイミー」の学習では、学習用語を押さえ、授業や單元ごとの振り返りを行うことにチャレンジした。音読では、「ふきのとう」で、役割読みを経験した。1学期に学んだことを活かして、本単元では、物語の面白さに触れ、想像したことを共有できるように授業を組み立てていきたい。

国語に関するアンケート（調査日 令和2年7月15日 調査人数 人）

1 物語を読むことは好きですか。	4… 人 3… 人 2… 人 1… 人
2 休み時間や家で、本をよく読みますか。	4… 人 3… 人 2… 人 1… 人
3 2の質問で答えた本は、「物語」が多いですか。	4… 人 3… 人 2… 人 1… 人
4 教科書以外の「物語」を読むとき、勉強したことを思い出しながら、他の「物語」を読むことが多いですか。	4… 人 3… 人 2… 人 1… 人

4 とてもよく当てはまる
3 どちらかといえば当てはまる
2 どちらかといえば当てはまらない
1 あまり当てはまらない

このアンケートの結果から、 %の児童が物語を読むことが好きだということがわかった。読書貯金の数字からも、学級文庫の物語や、1年生で学んだ昔話、ともだちシリーズ、ぐりとぐらシリーズ、サバイバルシリーズなどを好んで読んでいたことがわかった。この時期の児童にとって、「大きなかぶ」や「くじらぐも」、「ふきのとう」や「スイミー」などの教科書教材は、とても魅力的で心に残るお話であり、同じ作者の作品を読んだり、昔話を読んだりすることに興味をもてたこともわかった。今回もシリーズの本を授業が始まる前から、教室に置いて、お気に入りの話を見つけさせたい。「お手紙」では、登場人物の行動や気持ちを想像して、楽しく音読に取り組めるようにしたい。

(2) 教材観

本教材「お手紙」は、二人の登場人物の行動を中心に、場所や時間の移り変わりがはっきり描かれた作品である。また、会話文が多く、会話の際の二人の位置、距離、しぐさ、顔の向きを考えることで、二人の心情と心の通い合いを読み取ることができる。友だちの不幸せをいっしょに悲しみ、幸せを共に喜ぶほのぼのとした心情を描いた作品であり、その友だち同士の交流を、共感をもって読み取らせたい。

(3) 指導観

児童はこれまで、場面の様子を想像するという学習を1年生から重ねてきている。2年生の「ふきのとう」の学習では、場面の様子について、人物の行動を中心に想像し、音読をするという言語活動を経験した。これまでの学習でできるようになったことをふまえ、教材の特徴を生かし、本単元は学習指導要領第1学年及び第2学年の「1 知識及び技能」の中の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」の「ク 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」、「2 思考力・判断力・表現力等」の中の「C 読むこと」(1)「イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。」、「エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」を受けて設定した。

教材が変わっても転移可能・活用可能な国語の力を育成するために、本単元では授業の中で学習用語を意図的に扱うことで「物語を読む観点」を増やしていき、叙述を基に想像して読む力を伸ばし、自力で物語文を読むことができるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。

(知識及び技能) (1) ク

(2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

(思考力、判断力、表現力等) C (1) エ

(3) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。

(思考力、判断力、表現力等) C (1) カ

(4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

(学びに向かう力、人間性等)

4 単元で取り上げる言語活動

物語を読んで、内容を伝え合ったり、演じたりすること。(関連：言語活動例イ)

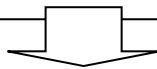
5 研究主題との関わり

研究主題

『学び続ける子どもたち』
—主体的・対話的で深い学びの実現を目指して—
～国語科を中心に～

(仮説①)

読みの技能を系統的に指導することを通じ、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげることができれば、主体的な学びを実現し、学び続ける子どもを育成することができるだろう。

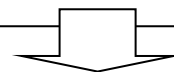


(手だて①)

- 読みの技能（作品の設定に気をつけて読む場面をとらえて読む、登場人物の気持ちの変化を想像しながら読む、登場人物の言動をとらえて読む、語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読・暗唱する）と系統的な指導を大切にする。
- 音読劇を行うというめあての明示と、そのためにどんなことをしなければならないかを、児童と一緒に考えながら、見通しの設定を行う。

(仮説②)

国語科特有の用語と教材内容とを併用して自分の考えを伝えることを通じ、子ども同士、教師と子ども、本を通じた作者との対話を促せば、対話的な学びを実現し、学び続ける子どもを育成することができるだろう。

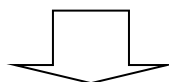


(手だて②)

- 国語科特有の用語（時、場所、登場人物、場面、気持ちの変化、会話文（言ったこと）、行動描写（したこと）、音読）と教材内容とを併用した対話を行う。
- 児童の発言を他の児童が、繰り返し説明したり、発表を児童同士で繋げたり、児童同士の学び合いも意識した、つながりのある双方向の対話を大切にする。

(仮説③)

国語科特有の用語自体を学ぶことで概念的な理解を促すことを通じ、活用場面を意図的に設定した問題解決的な学習過程を設定すれば、深い学びを実現し、学び続ける子どもを育成することができるだろう。



(手だて③)

○国語科特有の用語の概念と文中での使われ方を指導する。(以下は本単元で扱う「読みの技能」等)

教材	読みの系列	読みの技能	読みの用語(学習用語)	指導事項との関わり
お手紙	作品の構造	作品の設定に気をつけて読む	時、場所、登場人物、出来事	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえること。
	作品の構造	場面をとらえて読む	場面	
	人物	登場人物の気持ちの変化を想像しながら読む	登場人物の様子の変化	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。
	人物	登場人物の言動をとらえて読む	(言ったこと) (したこと)	
	活動用語	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読・暗唱する	音読	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 (1)ク	①「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 C(1)エ ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 C(1)カ	①積極的に、場面の様子に着目し登場人物の行動を具体的に想像して、学習の見通しをもって、音読で演じようとしている。

7 指導と評価の計画(全12時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○単元の学習の見通しをもつ。 ○全文を読む。	○語のまとまりに気をつけて音読すること ○登場人物	○児童が意欲をもって読書を進められるように、同じテーマの本を常設する。 【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>観察</u> ・単元の目標を知り、学習の見通しをもち、単元のゴールに到達するために必要な学習を考えているか確認する。

2 3	<p>○「お手紙」を読み、場面や登場人物の行動を確かめる。</p> <p>○場面の意味を理解し、場面分けをする。</p>	<p>○場面の移り変わり</p> <p>○会話や行動、様子を表す言葉</p>	<p>○挿絵をもとに、場面分けをし、あらすじをまとめる。</p> <div data-bbox="847 297 1425 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・技能①】</p> <p><u>音読</u></p> <p>・語のまとまりに気をつけて音読をしているか確認する。</p> </div> <div data-bbox="847 521 1425 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①】</p> <p><u>観察</u></p> <p>・場面の様子をとらえ、内容の大体を捉えているか確認する。</p> </div>
4 5 6 7 8	<p>○場面ごとのかえるくんやがまくんの行動を具体的に想像してなりきって音読する。</p>	<p>○会話や行動、様子を表す言葉</p> <p>○登場人物の行動を具体的に想像すること</p> <p>○感じ方や考え方を認め合うこと</p>	<p>○ワークシートに、登場人物の気持ちを想像して書く。</p> <div data-bbox="847 828 1425 1081" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①】</p> <p><u>ワークシート</u></p> <p>・登場人物について、どのような表情・口調・様子だったのかなどを具体的にイメージしているか確認する。</p> </div> <div data-bbox="847 1115 1425 1373" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p><u>ワークシート</u></p> <p>・具体的に想像したことを伝え合い、お互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしているか確認する。</p> </div>
9 10 11	<p>○音読劇をする場面を選んだり、役割を決めたりする。</p> <p>○音読劇をする。</p>	<p>○自分が理解したことを表出する音読</p> <p>○感じ方や考え方を認め合うこと</p>	<p>○これまでの学習を生かし音読の工夫を考えながら役割音読をする。</p> <div data-bbox="847 1500 1425 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p><u>観察</u></p> <p>・これまでの学習を生かし、単元のゴールである音読劇を行うため、場面を決めたり、役割を決めたり、音読の工夫を決めたりしているか、音読で演じようとしているか確認する。</p> </div>
12	<p>○同じシリーズのお気に入りの話を選んで、好きな会話</p>	<p>○感じ方や考え方を認め合うこと</p>	<p>○物語を読むことに興味をもち、自分が好きなところを見つけて読む。</p> <p>○互いのよさを認め合う。</p>

	文を音読で紹介する。		<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>音読・観察</u> ・これまでの学習を生かし、登場人物の様子を想像しながら読もうとしているか確認する。</p>
--	------------	--	---

8 本時の学習指導（7／12時）

（1）目 標

○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

（思考力、判断力、表現力等）C（1）エ

（2）評価規準

○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。

【思考・判断・表現】

（3）展 開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時までの学習をふり返り、教材文を音読し、本時の課題を確認する。	○語のまとまりに気を付けて、音読すること	○「3がまくんの家 前半」を振り返る。 ○「3がまくんの家 後半」をペアで、役割音読し、学習範囲を確認できるようにする。 ○学習のめあてを声に出して読み、ねらいを明確に意識させる。 ○学習内容を意識させるために、学習内容の理解に必要な言葉を使って課題を提示した。	7
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> じんぶつのしたことやようすをそうぞうし、なりきって音読しよう。 </div>			18
2 二人の登場人物の会話について、気持ちを想像し、ワークシートに書き込み、書き込んだことを生かして音読をする。	○登場人物の行動を具体的に想像すること ○会話や行動、様子を表す言葉 ○自分が理解したことを表出する音読 ○感じ方や考え方を認め合うこと	○二人の登場人物の会話について、どのような表情・口調・様子だったのかなどを具体的にイメージして、ワークシートに書き込みをさせる。 ○想像した登場人物の気持ちが伝わるように工夫して音読するようにする。音読の工夫について書き込みができる児童には、音読の工夫も書き込ませるようにする。 ○よかったところを伝え合い役割を交代する。 ○ペアで役割音読をしながら、想像したことを生かした音読を発表し合う。その後、何組か	

<p>〈期待される児童の反応〉 (がまくん) ・ 何で窓の外を見ているのかな ・ 不思議だな。 ・ 何を言ってるの。 ・ 驚いている。 ・ うれしいな。 ・ ありがとう、かえるくん。 (かえるくん) ・ かたつむりくん、早く来ないかな。 ・ 言っちゃおうかな。 ・ 本当だよ。手紙、来るんだよ。</p>		<p>発表させ全体で共有する。</p> <p>〈学習のポイント〉 ①自分で考えたことをワークシートに書かせる。 ②ある程度書いた段階で、ペアで役割音読をさせ、よいところをお互いに共有させる。 ③共有して気がついたよい考えやペアで相談して新たに思いついた考えを、再びワークシートに書かせる。 ④再度、役割音読をする。 ⑤③④を繰り返し、他者と考えを共有しながら思いついた考えを自分の考えに書き加えることで、考えを深める。</p>	
<p>3 手紙が届くことと手紙の内容を打ち明けた直後の二人の登場人物の気持ちを想像し、心の中の声として書き、教材文に続けて音読する。</p>	<p>○登場人物の行動を具体的に想像すること ○感じ方や考え方を認め合うこと</p>	<p>【 思考・判断・表現① 】 (評価方法) <u>ワークシートの考察</u> ・登場人物の気持ちを想像して、会話文の隣に想像した気持ちが書けている児童をB評価とする。 (「努力を要する」状況(C)への手立て) ・「この会話のところ、一度音読してみて」と投げかけ、音読した児童に「今、どんな気持ちで読んだの」と問いかけることで、話し言葉から書き言葉へ移行できるようにする。</p> <p>○教材文に書かれていることについて、登場人物の気持ちを想像したり、想像したことを音読に生かしたりしたことから、教材文には無い登場人物の心の中を新たに想像させる。 ○想像した登場人物の心の中を、教材文に付け加える形で音読するようにする。 ○ペアで役割音読をした後、何組か発表させ全体で共有する。</p>	<p>15</p>

<p>〈期待される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しいな。手紙を初めてもらえたよ。かえるくんありがとう。 ・がまくん、よかったね。これでもう、手紙を待つ時間が悲しい時じゃなくなるね。 			
<p>4 振り返りをする。</p>		<p>○本時の学習を通して、登場人物がどのような表情・口調・様子だったのかなどを具体的にイメージして想像することができたか、想像したことを音読に生かしてなりきって音読することができたか、などを振り返らせる。</p>	<p>5</p>

(4) 板書計画

お手紙
アーノルドローベル

じんぎつのことちやよろすをさうぞうして、
なりきって音読しよう。

教材文

ふり返り

本時の場面が
まくとかえ
るくの挿絵

※児童が想像したことを吹き出しの中に書き込む

- ・嬉しいな。手紙を初めてもらえたよ。かえるくんありがとう。
- ・がまくん、よかったね。これでもう、手紙を待つ時間が悲しい時じやなくなるね。

※児童が想像したことを教材文の隣に書き込む

(がまくん)

- ・何で窓の外を見ているのかな
- ・不思議だな。
- ・何を言ってるの。
- ・驚いている。
- ・うれしいな。
- ・ありがとう、かえるくん。

(かえるくん)

- ・かたつむりくん、早く来ないかな。
- ・言っちゃおうかな。
- ・本当だよ。手紙、来るんだよ。